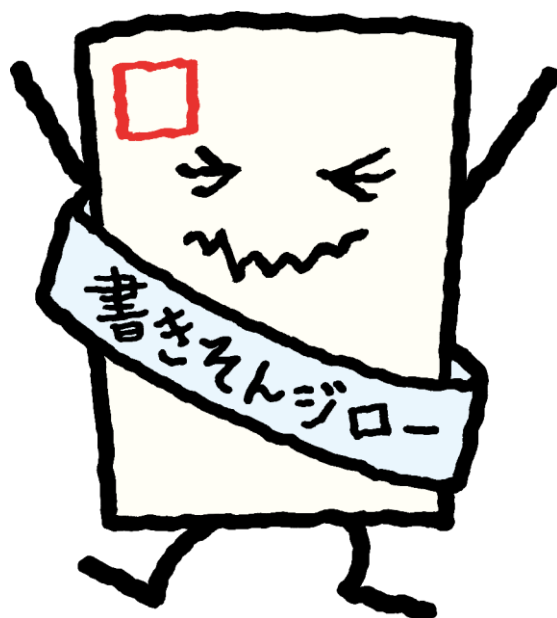


書きそんじハガキ・キャンペーン2017 成果報告書 (2017.12.22更新)



集まったハガキ

約108万枚

(5,076万円の募金相当)

完成した寺子屋

3軒

学んだ人びと

4,000人以上

皆さまからのご支援によって、カンボジアでは寺子屋が1軒完成し、アフガニスタンとネパールをあわせて教育を受ける機会がなかった人びと4,000人以上が識字クラスや小学校クラス、幼稚園クラスほか技術訓練を受けることができました。



公益社団法人

日本ユネスコ協会連盟

■ 昨年キャンペーンのご報告

皆さまからの書きそんじハガキで、2016年度もアフガニスタン、カンボジア、ネパールの3カ国で様々な活動を行うことができました。



カンボジア

3軒の寺子屋がいよいよ自立運営へ

シェムリアップ州のチョンクニア、プレイクロッチ、コックスロックの各寺子屋は、運営委員会がきちんと機能し、識字支援が終わるなどの条件を満たし、2017年度から支援を“卒業”して自立運営に移行しました。チョンクニア寺子屋では、貧困層の女性の職業訓練として始まったホテイアオイ製品作りは、作り手の女性たちのアイディアで新しい商品が毎年生み出され、いまでは村の発展を支えています。



ホテイアオイの新品・椅子

16軒目「ポングロ・クラオム寺子屋」完成

シェムリアップ州チクライン郡ポングロ・クラオムコミュニティに、16件目となる寺子屋が完成しました。2017年3月に約600人の村人が集まり、開所式を行いました。



寺子屋卒業生が学び続けるサポートを

小学校を中途退学した児童向けに寺子屋で行う「復学支援クラス」を卒業した子どもたちが、公立の中学校でさらに学び続けられるよう、学用品や制服支給などの進学支援を行っています。2016年度に中学校に進学した人数は149人になり、学び続ける環境をサポートしています。



中学校で学ぶ“寺子屋卒業生”たち

各教育プログラム・収入向上活動の実施

15歳以上を対象とした識字クラスは490人が参加しました。将来の非識字者を出さないことを目的とした「復学支援クラス」では234人が学び、さらに小学校中途退学予防のための「幼稚園クラス」は193人が参加しました。収入向上活動では約350家庭の人びとが、手工芸品作りなどの職業訓練を受けたり、小口融資を受けて仕事を始めたりすることが出来ました。





アフガニスタン寺子屋プロジェクト

寺子屋 (CLC) の設立・建設

カブールから北に25キロにあるミルバチャコット郡で1軒の寺子屋建設が完了しました。郡内の5万人のうち約1万8千人が非識字者とされており、地域の人びとに識字クラスを展開する予定です。

これから机や椅子などの備品も搬入され、順次活動が開始されます。

さらに、地域の人びとによるボランティアの寺子屋運営委員会の組織化や職業訓練も計画されています。



今後、開所式典も実施される予定です

識字クラスの実施と教員等能力開発

30年以上にわたる戦争により学校や教育システムが破壊されたアフガニスタン。成人識字率は32%しかありません。

30年以上にわたる戦争により学校や教育システムが破壊されたアフガニスタンでは、幼少期に学校がなかったり、学校に通うことを禁じられたりしたため、字の読み書きができないまま大人になった人びとがたくさんいます。

特に農村部の女性のうち100人に数人程度しか読み書きができないといわれています。2016年度は、カブール近郊とバーミヤンを中心に450人が9カ月の識字クラスを修了し、基礎的なダリ語の能力を身に付けることができました。

また、裁縫クラス、刺繍クラス、革製品づくりのクラスなど地域の収入に結び付く技術研修を237人が受講しました。

ほかにも、識字クラスの教員研修への教授法の研修や寺子屋運営委員への運営研修などの能力開発も実施しました。



寺子屋で実施された女性たちのための識字クラス



識字クラスの卒業試験



ネパール寺子屋プロジェクト

寺子屋 (CLC) の設立・建設

2016年度は、2015年のネパール中部（ゴルカ）地震で建物被害を受けた寺子屋1軒の再建をネパール東部のラメチャップ郡で進め、寺子屋が完成しました。図書室の運営をはじめ、識字クラスが開始される予定です。ほかに、震源に近いゴルカ郡の被災した寺子屋の再建を進めています。



中級識字クラスの実施

2016年度は、4ヵ月間の中級識字クラスを行い、1,622人が卒業することができました。識字クラスでは、ネパール語の読み書きだけでなく、フォローアップを目的とし、中級のネパール語の読み書き・計算だけでなく、公衆衛生や女性の権利などについても学びました。クラスの開始前には、識字教員への教授法の研修も行い、識字クラスの質の向上にも努めました。



寺子屋で実施された女性たちのための識字クラス

小学校クラスの実施

カースト制度の最下層であるダリット、女子またイスラム教徒など教育の機会がなかった子どもや小学校を中途退学した子どもを対象とした小学校クラスを実施しました。

2016年度は、26クラスで510人が小学校クラスでネパール語、英語、算数、社会、理科の5教科を学びました。クラスは寺子屋のほかに、イスラム教の学校であるマドラサや民家でも行われています。

ネパール寺子屋プロジェクトでは、識字クラスや小学校クラスの開始前には、教員への研修を実施しています。ほかにも、寺子屋を運営するボランティアの運営委員への年間計画策定や会計についての研修も実施しました。



マドラサ（イスラム教の学校）で実施された小学校クラス



寺子屋で実施された小学校クラス

■ 昨年キャンペーンのご報告

カンボジアとアフガニスタンの寺子屋より、書きそんじハガキにご協力して下さった皆様へのお礼のメッセージをお届けします。

カンボジアより

寺子屋の「復学支援クラス」を卒業して中学校に進学した生徒と、「識字クラス」で学んだ男性からのメッセージ



「村にできた寺子屋のおかげで、小学校の勉強を終えて、中学校に入ることができました。とても嬉しいです。」

「中学校では友達が増えて、面白い科目もあります。もっと勉強を頑張って、大学を出て、村に戻って発展に貢献したいです。」

「皆さん、私に友達との出会いと、チャンスをくださってありがとうございます。」

サムナンさん(13歳)

「識字クラスのことは先生から聞いてすぐに参加を決めました。生活に絶対に必要だったからです。」

「クラスはとても気に入りました。先生が良くて分かりやすかったです。時間は夜なので、収穫の忙しい時期でも、仕事を終えてから参加できたのも良かったです。」

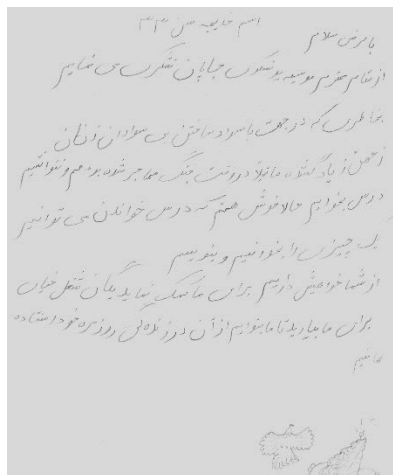
「識字者になって、自分に自信を持つことができました。あまり知らない町に行っても、看板が読めて、自分がどこにいるか分かるからです。」

ヴィーさん(38歳)



アフガニスタンより

カブールの寺子屋の識字クラスで学ぶ女性からの直筆メッセージ



「学ぶ機会を提供してくれた皆さんに感謝しています。私は戦闘のため故郷を離れなければならず、学校に行く機会がありませんでした。今では、字の読み書きができるようになって幸せです。今後も継続的に支援してもらえれば嬉しいです。」

カデジャさん(33歳)